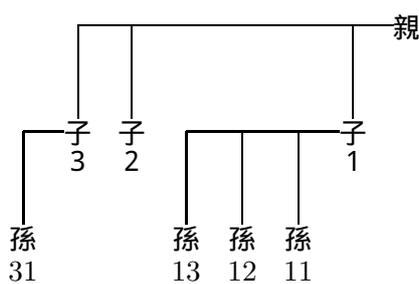


系図を描画する EMkeizu 環境の基本的な使用法を述べます。
系図を EMkeizu 環境内に記述します。

各人物は、コマンド \eda の引数として記述します。

枝分かれが起きるとコマンドは \eda{...} に引き続いて \bunki 環境を置きます。

一例です。



という系図のソースリストは下のようになっています。

なお、EMkeizu 環境には、縦横間隔の調整などをするためのオプション引数があります。これについては、同梱の tokugawa.tex で解説します。

```
\begin{EMkeizu}
  \eda{親}
  \begin{bunki}
    \eda{子1}
    \begin{bunki}
      \eda{孫 \rensuji{11}}
      \eda{孫 \rensuji{12}}
      \eda{孫 \rensuji{13}}
    \end{bunki}
  \eda{子2}
  \eda{子3}
  \begin{bunki}
    \eda{孫 \rensuji{31}}
  \end{bunki}
\end{bunki}
\end{EMkeizu}
```